

第1 犯罪の概況

1 刑法犯

(1) 発生(認知)状況

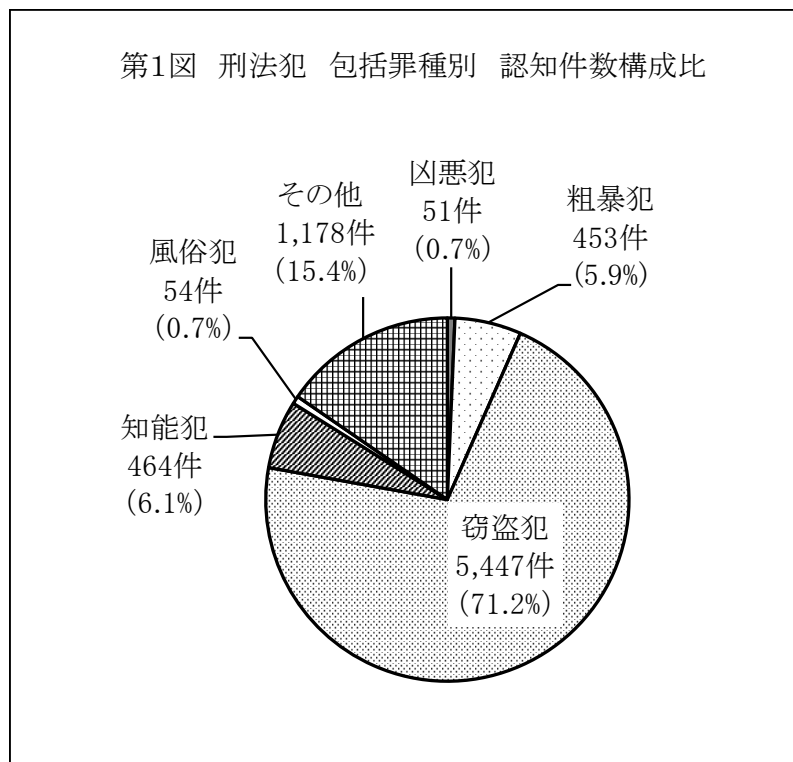
ア 概況

令和4年中の刑法犯認知件数は7,647件で、前年に比べ237件(3.2%)増加した。包括罪種別にみると第1表のとおり、凶悪犯、窃盗犯、知能犯が増加した。

第1表 刑法犯認知件数増減比較

包括罪種	令和4年		令和3年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	7,647	100.0	7,410	100.0	237	3.2
凶悪犯	51	0.7	50	0.7	1	2.0
粗暴犯	453	5.9	483	6.5	-30	-6.2
窃盗犯	5,447	71.2	5,140	69.4	307	6.0
知能犯	464	6.1	372	5.0	92	24.7
風俗犯	54	0.7	63	0.9	-9	-14.3
その他	1,178	15.4	1,302	17.6	-124	-9.5

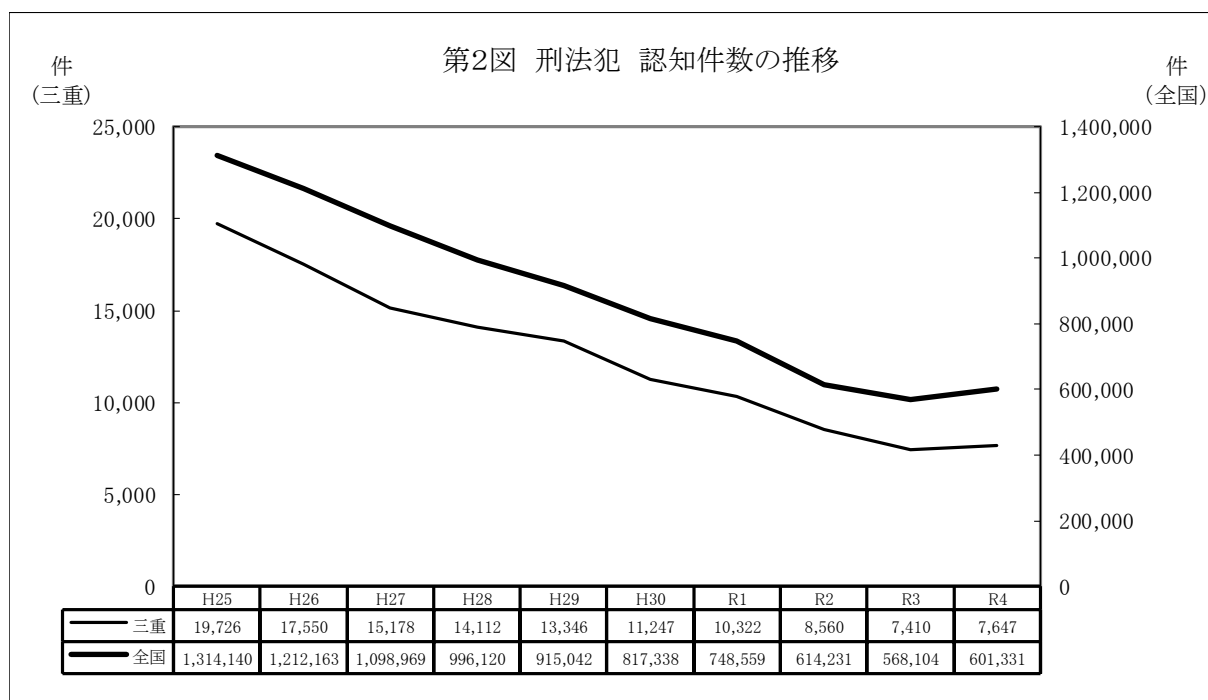
(ア) 刑法犯認知件数の包括罪種別構成比をみると、第1図のとおり、窃盗犯が約7割を占めている。



(イ) 都道府県別にみた刑法犯認知件数の全国順位は第19位(前年第20位)で、全国刑法犯認知件数601,331件の約1.3%を占めている。

また、犯罪率(人口10万人当たりの認知件数・令和4年10月1日現在の推計人口を用いて算出。)は439.0で、全国47都道府県中、17番目に高率であった。

(ウ) 刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、第2図のとおりで、平成25年以降、全国、三重ともに年々減少していたが、令和4年は増加に転じた。



イ 罪種別にみた発生(認知)状況

(ア) 重要犯罪

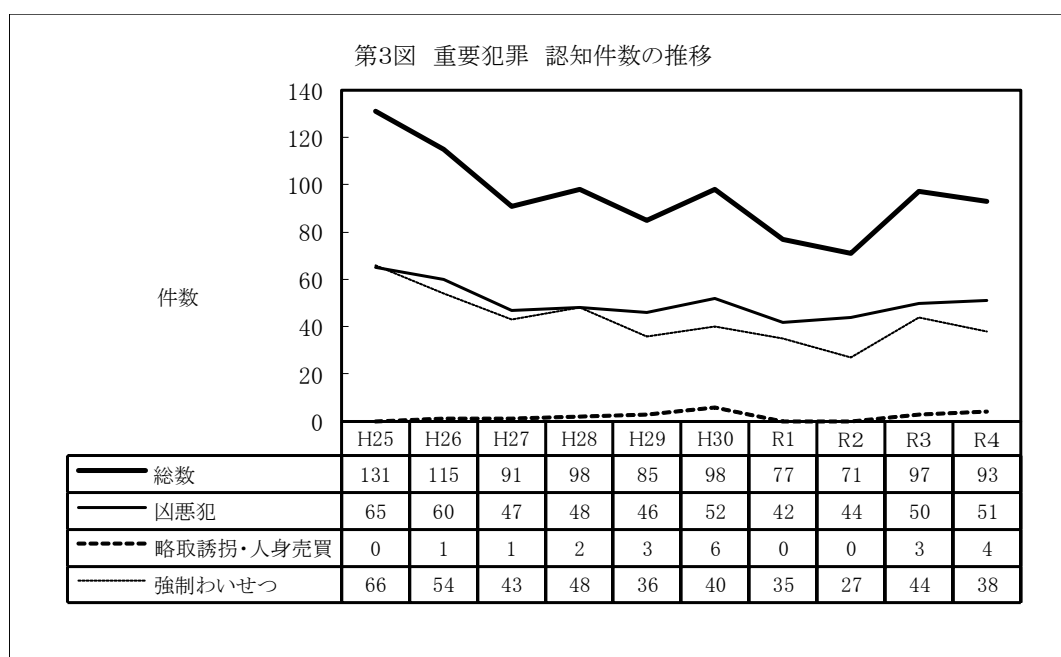
令和4年中の重要犯罪の認知件数は第2表のとおり93件で、前年に比べ、4件(4.1%)減少した。

罪種別にみると、殺人と略取誘拐・人身売買が増加したが、他の罪種は減少した。

第2表 重要犯罪認知件数増減比較

区 分	令和4年	令和3年	増 減	
			件 数	率
総 数	93	97	-4	-4.1
殺 人	12	6	6	100.0
強 盗	12	13	-1	-7.7
放 火	5	8	-3	-37.5
強 制 性 交 等	22	23	-1	-4.3
略取誘拐・人身売買	4	3	1	33.3
強制わいせつ	38	44	-6	-13.6

過去10年間の認知件数の推移をみると第3図のとおりで、平成25年以降減少傾向を示していたが、令和3年に増加し、令和4年は減少に転じた。



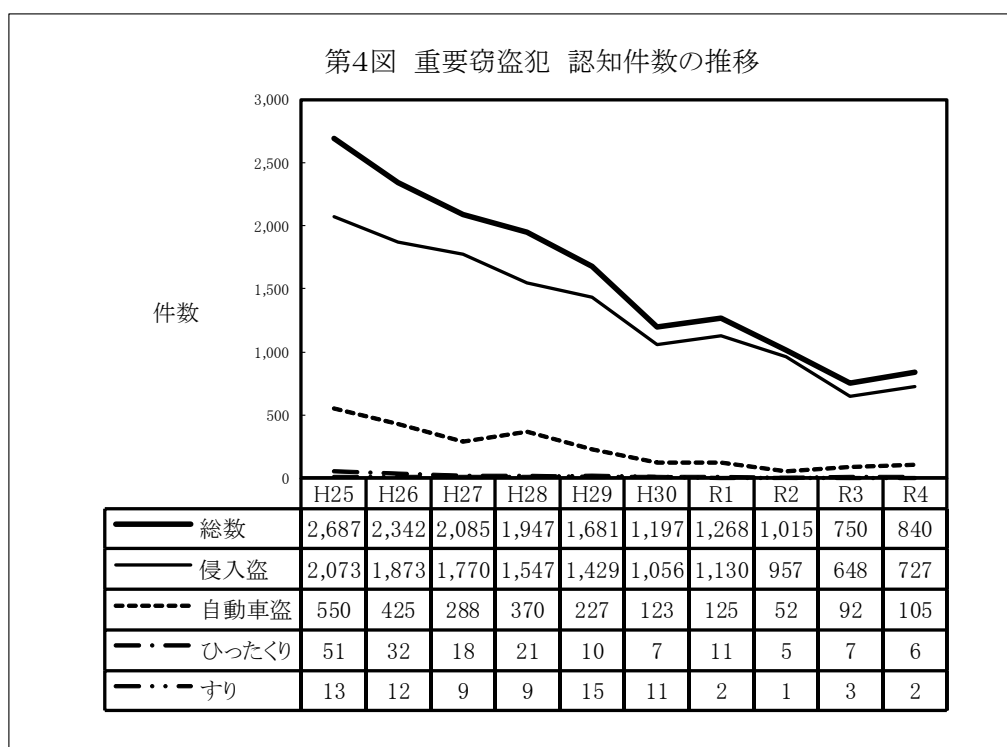
(イ) 重要窃盗犯

令和4年中の重要窃盗犯の認知件数は、第3表のとおり840件で、前年に比べ、90件(12.0%)増加した。

第3表 重要窃盗犯認知件数増減比較

区 分	令和4年	令和3年	増 減	
			件 数	率
総 数	840	750	90	12.0
侵 入 盗	727	648	79	12.2
住宅対象	269	237	32	13.5
その他	458	411	47	11.4
自 動 車 盗	105	92	13	14.1
ひ っ た く り	6	7	-1	-14.3
す り	2	3	-1	-33.3

過去10年間の認知件数の推移をみると第4図のとおりで、平成25年以降は減少傾向を示している。令和3年は過去10年で最少の件数となったが、令和4年は増加に転じた。



(ウ) 凶悪犯

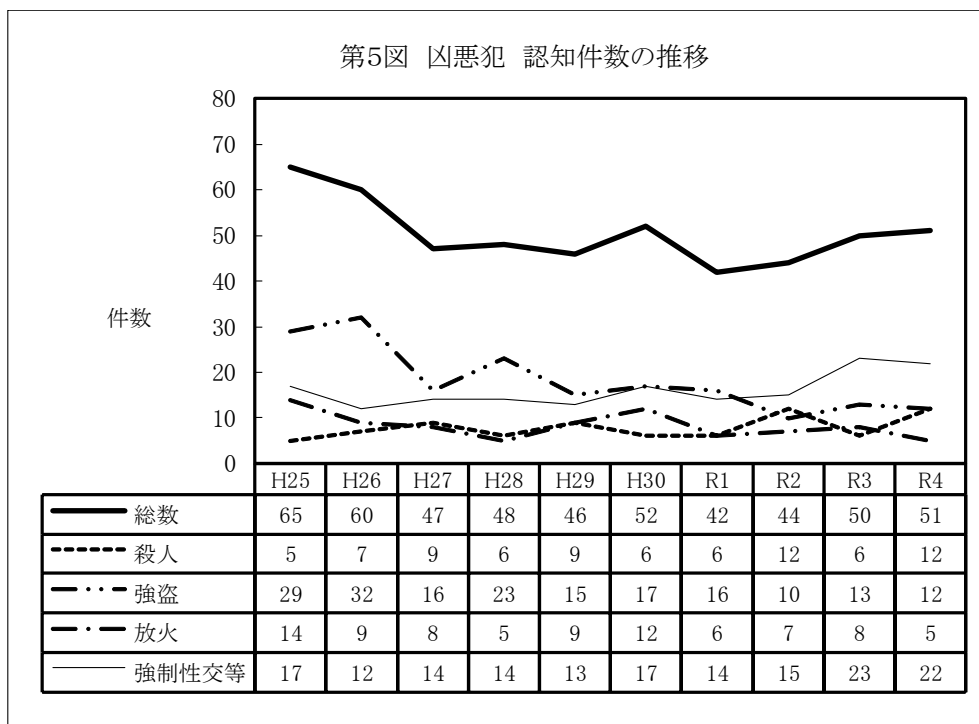
令和4年中の凶悪犯認知件数は、第4表のとおり51件であった。

罪種別にみると、殺人が増加し、強盗、放火、強制性交等が減少した。

第4表 凶悪犯認知件数増減比較

罪種	令和4年		令和3年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	51	100.0	50	100.0	1	2.0
殺人	12	23.5	6	12.0	6	100.0
強盗	12	23.5	13	26.0	-1	-7.7
放火	5	9.8	8	16.0	-3	-37.5
強制性交等	22	43.1	23	46.0	-1	-4.3

過去10年間の認知件数の推移をみると第5図のとおりである。平成25年以降、増加と減少を繰り返しているが、総数にあつては平成27年以降は50件前後を推移している。



(エ) 粗暴犯

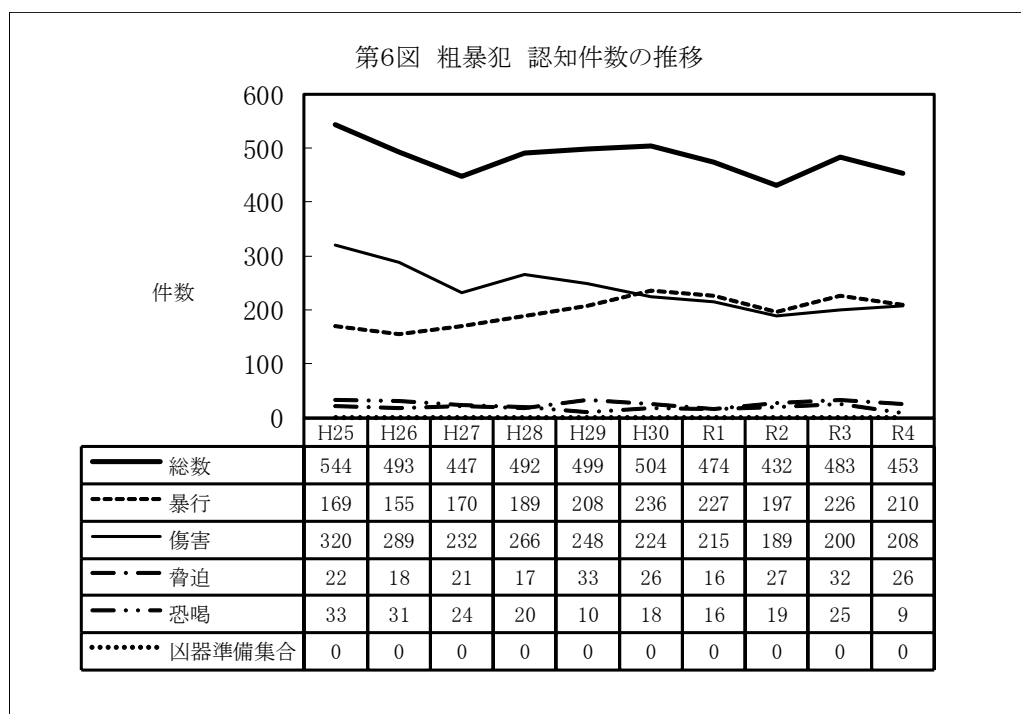
令和4年中の粗暴犯認知件数は、第5表のとおり453件で、前年に比べ30件(6.2%)減少した。

罪種別にみると、傷害が増加し、暴行、脅迫、恐喝が減少した。

第5表 粗暴犯認知件数増減比較

罪種	令和4年		令和3年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	453	100.0	483	100.0	-30	-6.2
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—
暴行	210	46.4	226	46.8	-16	-7.1
傷害	208	45.9	200	41.4	8	4.0
脅迫	26	5.7	32	6.6	-6	-18.8
恐喝	9	2.0	25	5.2	-16	-64.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第6図のとおりで、平成25年以降、増加と減少を繰り返している。



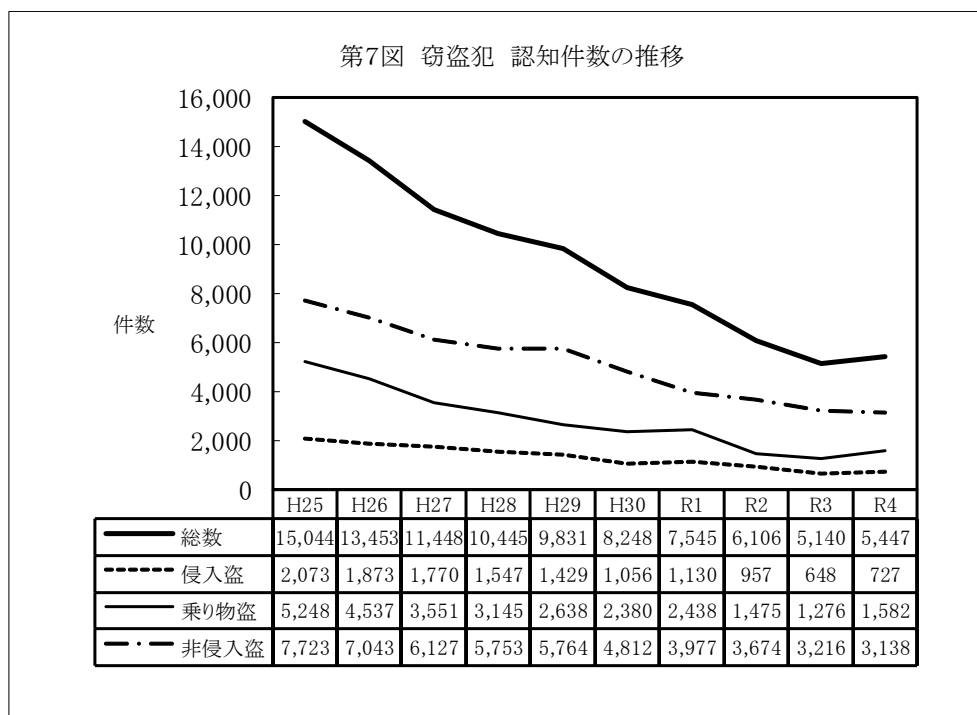
(オ) 窃盗犯

令和4年中の窃盗犯認知件数は、第6表のとおり5,447件で、前年に比べ307件(6.0%)増加した。

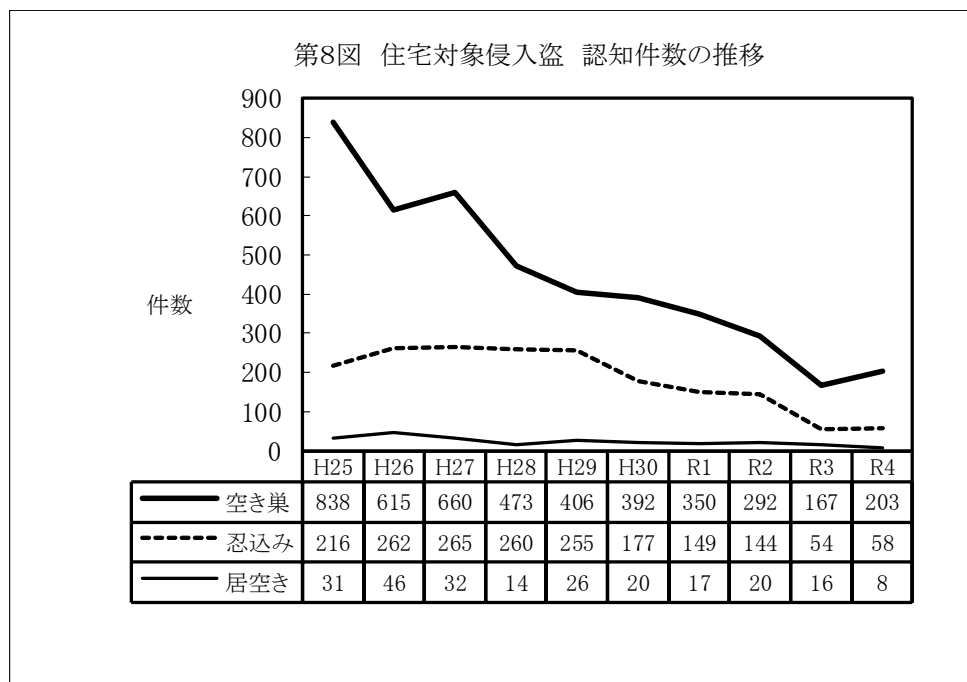
第6表 窃盗犯認知件数増減比較

手 口	令和4年		令和3年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	5,447	100.0	5,140	100.0	307	6.0
侵 入 盗	727	13.3	648	12.6	79	12.2
乗 り 物 盗	1,582	29.0	1,276	24.8	306	24.0
非 侵 入 盗	3,138	57.6	3,216	62.6	-78	-2.4

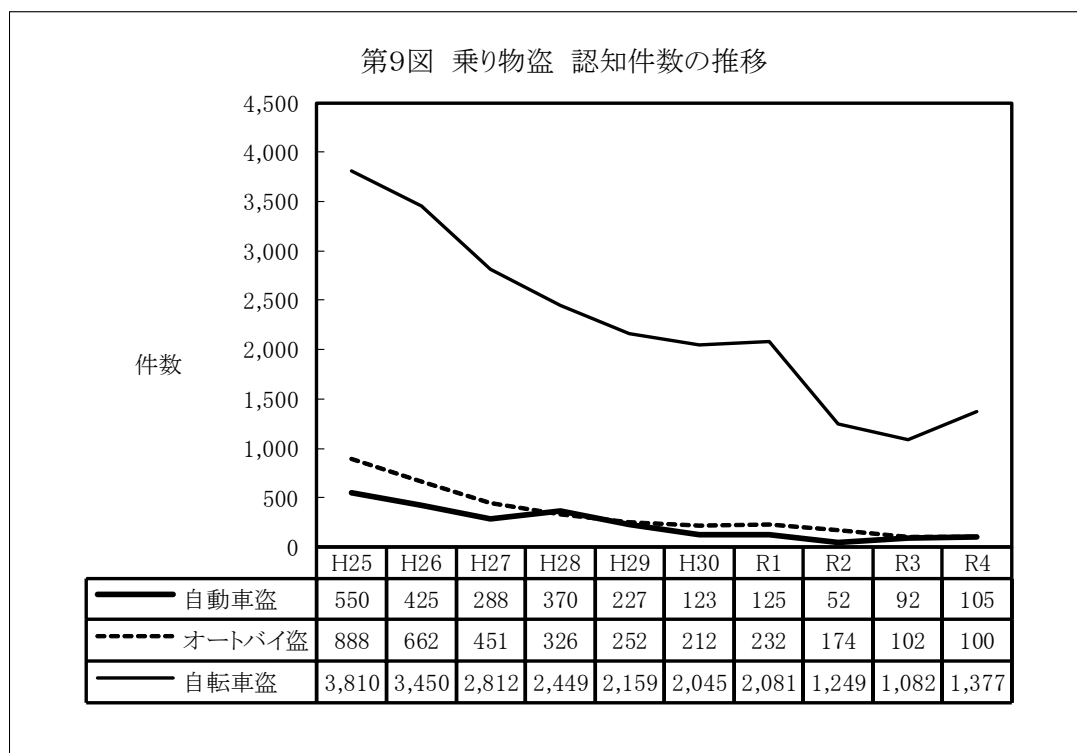
過去10年間の認知件数の推移をみると、第7図のとおりである。令和3年は、総数、侵入盗、乗り物盗が過去10年で最少の件数となったが、令和4年は増加に転じた。



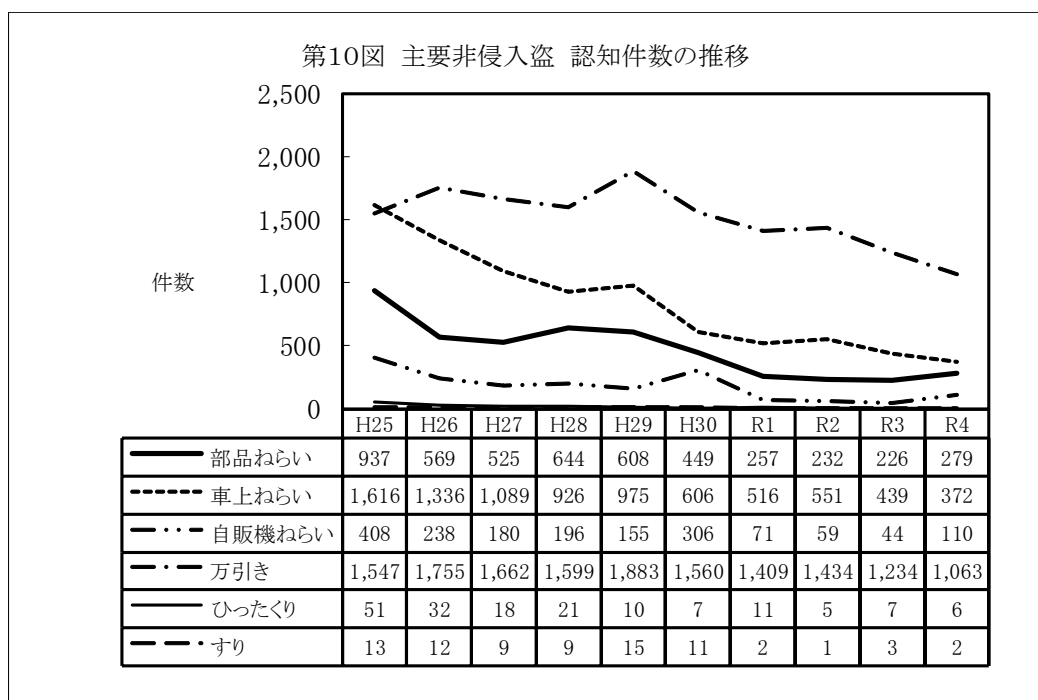
侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると第8図のとおりである。令和4年は居空きが過去10年で最少の件数となったが、空き巣、忍込みは増加に転じた。



乗り物盗について過去10年間の認知件数の推移をみると第9図のとおりである。令和4年はオートバイ盗が過去10年で最少の件数となった。



非侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第10図のとおりである。令和4年は車上ねらい、万引きが過去10年で最少の件数となった。



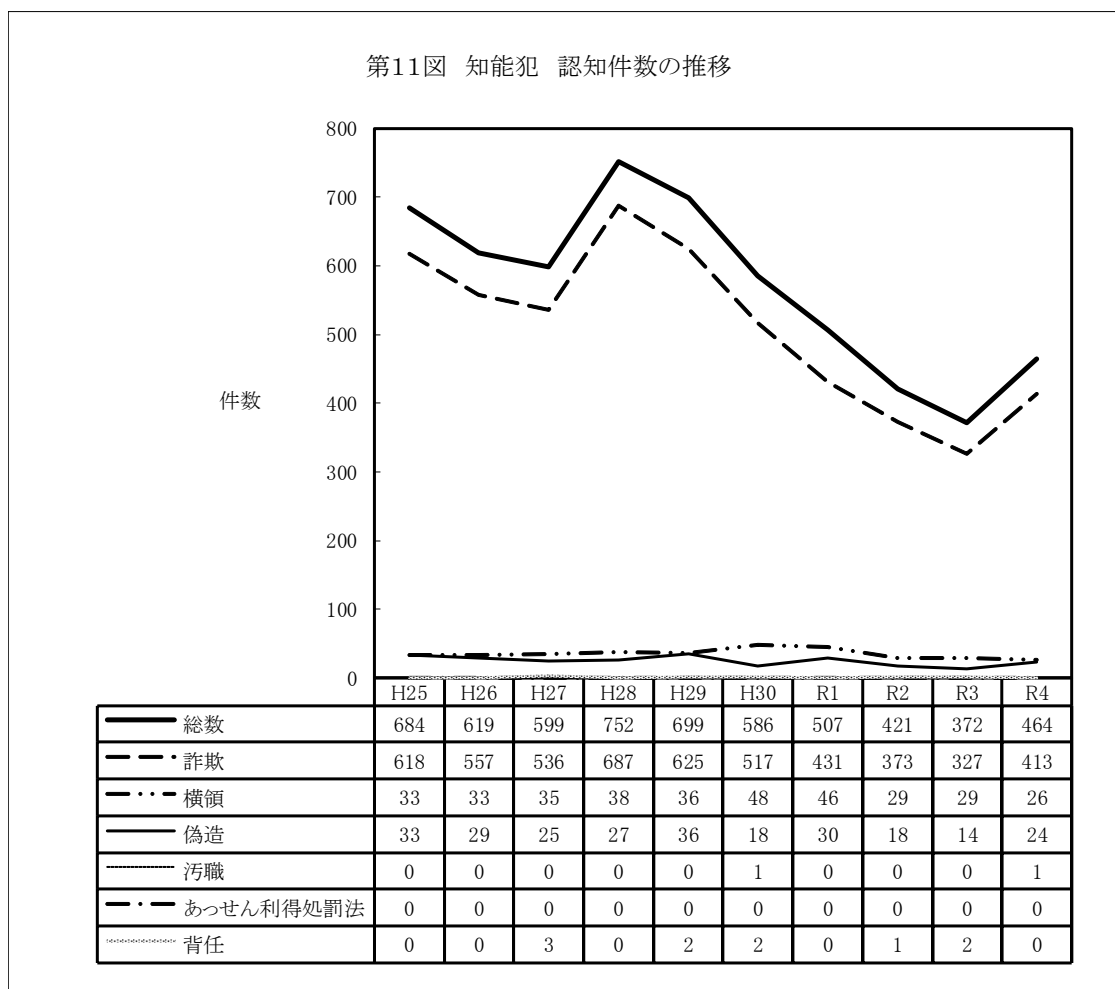
(カ) 知能犯

令和4年中の知能犯認知件数は、第7表のとおり464件で、前年に比べ92件(24.7%)増加した。罪種別にみると、詐欺、偽造、汚職が増加し、横領、背任が減少した。

第7表 知能犯認知件数増減比較

罪種	令和4年		令和3年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	464	100.0	372	100.0	92	24.7
詐欺	413	89.0	327	87.9	86	26.3
横領	26	5.6	29	7.8	-3	-10.3
偽造	24	5.2	14	3.8	10	71.4
汚職	1	0.2	—	—	1	—
あっせん利得処罰法	—	—	—	—	—	—
背任	—	—	2	0.5	-2	-100.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第11図のとおりで、平成29年以降、詐欺の認知件数は減少傾向を示していたが、令和4年は増加に転じた。



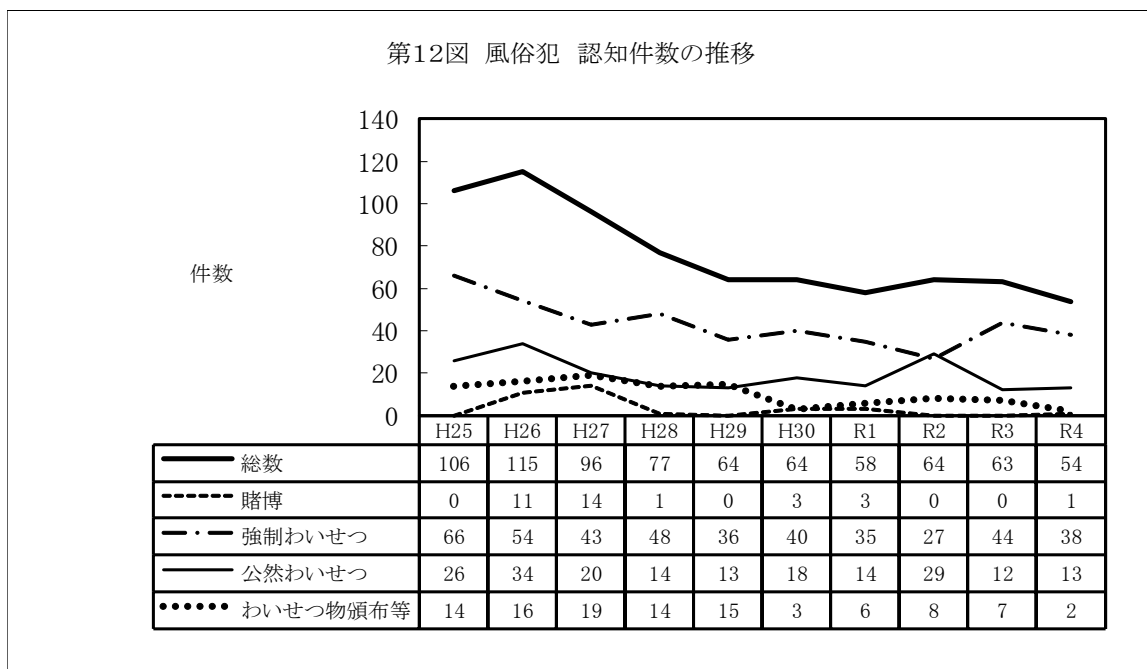
(キ) 風俗犯

令和4年中の風俗犯認知件数は、第8表のとおり54件で、前年に比べ9件(14.3%)減少した。

第8表 風俗犯認知件数増減比較

罪種	令和4年		令和3年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	54	100.0	63	100.0	-9	-14.3
賭博	1	1.9	—	—	1	—
強制わいせつ	38	70.4	44	69.8	-6	-13.6
公然わいせつ	13	24.1	12	19.0	1	8.3
わいせつ物頒布等	2	3.7	7	11.1	-5	-71.4

過去10年間の認知件数の推移をみると第12図のとおりである。風俗犯は平成27年以降は減少傾向を示し、令和4年は総数とわいせつ物頒布等が過去10年で最少の件数となった。



(ク) その他の刑法犯

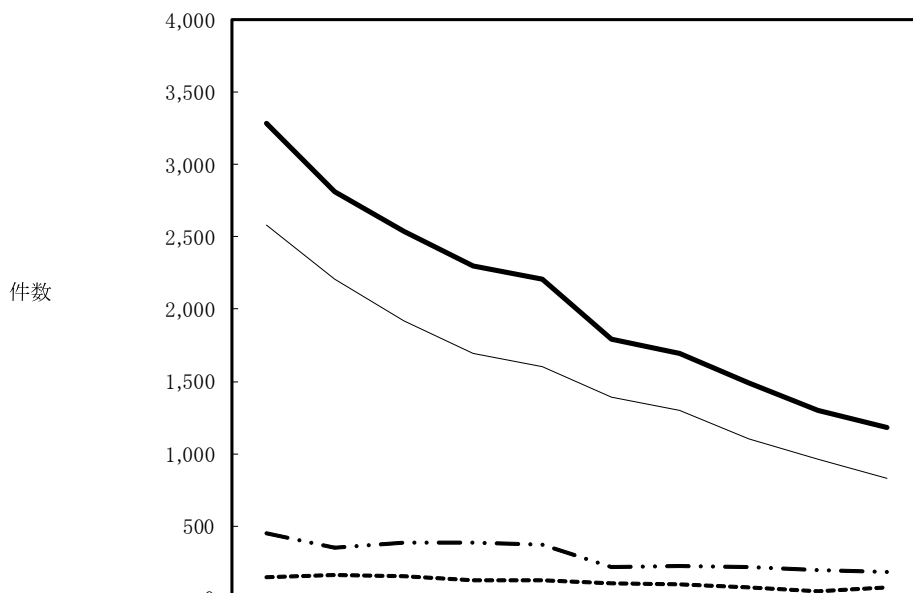
令和4年中のその他の刑法犯は、第9表のとおり1,178件で、前年に比べ124件(9.5%)減少した。住居侵入、器物損壊等が減少している。

第9表 その他の刑法犯認知件数増減比較

罪 種	令和4年		令和3年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	1,178	100.0	1,302	100.0	-124	-9.5
うち) 略取誘拐・人身売買	4	0.3	3	0.2	1	33.3
うち) 占有離脱物横領	77	6.5	51	3.9	26	51.0
うち) 住 居 侵 入	185	15.7	198	15.2	-13	-6.6
うち) 逮 捕 監 禁	3	0.3	—	—	3	—
うち) 器 物 損 壊 等	829	70.4	963	74.0	-134	-13.9

過去10年間の認知件数の推移をみると第13図のとおりである。令和4年は総数、住居侵入、器物損壊等が過去10年で最少の件数となった。

第13図 その他の主要刑法犯 認知件数の推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数	3,283	2,810	2,541	2,298	2,207	1,793	1,696	1,493	1,302	1,178
占有離脱物横領	143	163	152	128	122	101	98	75	51	77
住居侵入	447	349	382	382	374	214	222	213	198	185
逮捕監禁	2	1	2	3	2	1	1	1	0	3
器物損壊等	2,578	2,207	1,921	1,695	1,602	1,394	1,297	1,103	963	829
略取誘拐・人身売買	0	1	1	2	3	6	0	0	3	4

ウ 警察署別にみた刑法犯発生(認知)状況

令和4年中の刑法犯認知件数を警察署別にみると、第10表のとおりで、前年と比べ、全18警察署のうち、9警察署で増加し、9警察署で減少した。

- 前年に比べ増加した警察署 ……いなべ、四日市北、四日市南、四日市西、津、津南、大台、鳥羽及び尾鷲警察署
- 前年に比べ減少した警察署 ……桑名、亀山、鈴鹿、松阪、伊勢、熊野、紀宝、伊賀及び名張警察署

第10表 警察署別刑法犯認知件数

署 別	令和4年	令和3年	増減数	増減率
桑 名	635	640	-5	-0.8
い な べ	221	214	7	3.3
四 日 市 北	655	613	42	6.9
四 日 市 南	1,184	920	264	28.7
四 日 市 西	231	205	26	12.7
亀 山	178	187	-9	-4.8
鈴 鹿	1,005	1,068	-63	-5.9
津	836	804	32	4.0
津 南	371	362	9	2.5
松 阪	739	766	-27	-3.5
大 台	35	34	1	2.9
伊 勢	594	617	-23	-3.7
鳥 羽	253	178	75	42.1
尾 鷲	87	54	33	61.1
熊 野	34	45	-11	-24.4
紀 宝	43	50	-7	-14.0
伊 賀	301	396	-95	-24.0
名 張	245	257	-12	-4.7
総 数	7,647	7,410	237	3.2

(2) 犯罪の被害状況

ア 生命・身体の被害

令和4年中に刑法犯により生命・身体に被害を受けた者の総数は第11表のとおり、250人で、前年に比べ9人(3.7%)増加した。

また、県民一人当たりでみると、1.4人(前年1.4人)となっている。

第11表 死傷被害者数

罪 種	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
総 数	5	255	2	253	10	225	8	233	9	241
殺 人	3	3	1	5	6	5	1	5	7	5
強盗・強制性交等	—	8	—	12	—	9	—	4	—	10
傷 害・同 致 死	—	233	1	223	1	205	2	212	—	215
過 失 致 死 傷	—	5	—	5	1	2	—	2	—	4
業 過 (交 を 除 く)	2	1	—	4	2	3	3	9	2	—
放 火・失 火	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
強 制 わ い せ つ	—	4	—	3	—	1	—	1	—	4
遺 棄	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
逮 捕 監 禁	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2
恐 喝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建 造 物 損 壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
決闘罪ニ関スル件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 財産の被害

令和4年中に認知した財産犯(強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領をいう。以下同じ)の被害総額は約56億円で、このうち現金被害額は約47億円(総額の85.2%)である。

これを罪種別にみると、第12表、第14図のとおりで、詐欺、窃盗、横領、恐喝、強盗、占有離脱物横領の順に被害額が多くなっている。

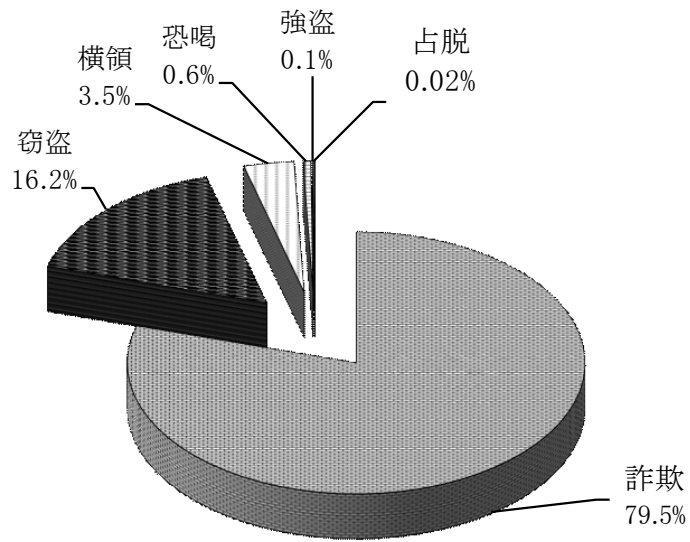
第12表 財産犯の被害額

[単位:千円]

罪 種	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金
総 数	1,455,265	792,377	1,197,053	639,166	1,291,092	612,817	1,414,555	695,233	5,555,414	4,734,197
強 盗	3,187	2,211	517	302	3,427	914	875	869	7,793	7,680
恐 喝	749	678	25,648	25,598	2,443	2,441	24,895	24,895	30,768	25,416
窃 盗	873,715	262,636	708,191	186,880	597,764	178,015	875,525	206,429	899,513	165,634
詐 欺	531,495	496,398	349,399	322,406	598,790	348,023	296,245	264,024	4,419,154	4,347,500
横 領	44,647	29,852	112,122	103,423	86,980	82,489	215,878	198,401	197,083	187,509
占 脱	1,472	602	1,176	557	1,688	935	1,137	615	1,103	458

注:「占脱」とは占有離脱物横領をいい、その被害額は「横領」に含まない。

第14図 財産犯の罪種別構成比



(3) 検挙状況

ア 概況

令和4年中の刑法犯検挙状況は第13表のとおり、検挙件数は、2,953件、検挙人員は1,796人で、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに減少した。

包括罪種別に前年と比較すると、粗暴犯と窃盗犯の検挙件数、検挙人員が減少した。

第13表 刑法犯検挙件数・検挙人員

包括罪種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	2,953	3,421	-468	-13.7	1,796	1,846	-50	-2.7
凶 悪 犯	49	49	±0	±0.0	46	40	6	15.0
粗 暴 犯	390	404	-14	-3.5	382	406	-24	-5.9
窃 盗 犯	1,858	2,259	-401	-17.8	950	1,010	-60	-5.9
知 能 犯	320	291	29	10.0	203	183	20	10.9
風 俗 犯	55	54	1	1.9	44	39	5	12.8
そ の 他	281	364	-83	-22.8	171	168	3	1.8

刑法犯検挙件数、検挙人員の過去10年間の推移は、第14表のとおりである。検挙件数は平成25年をピークに減少傾向を示しており、令和4年は過去10年で最少の検挙件数となった。また、検挙人員は、平成25年以降は減少傾向を示しており、令和4年は20歳以上、少年とともに過去10年で最少の検挙人員となった。

第14表 刑法犯検挙状況

年 別	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
検 挙 件 数	6,048	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953
検 挙 人 員	総 数	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,796
	20歳以上	1,855	1,877	1,890	1,865	1,945	1,970	1,723	1,688	1,648
	少 年	593	570	388	294	248	240	215	175	172
構 成 比	24.2	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2

注：検挙人員は検挙時年齢による。

刑法犯検挙人員1,796人を犯行時の年齢別にみると第15表のとおりで、10歳代、30歳代、40歳代、50歳以上の人員が過去10年間で最少の人員となった。

第15表 刑法犯犯行時の年齢別検挙人員の推移

年別 年齢別	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和
	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
総 数	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796
14～19歳	600	577	397	296	259	245	219	180	178	152
20～29歳	308	335	291	319	327	289	290	324	301	337
30～39歳	359	324	322	316	318	314	262	267	265	242
40～49歳	343	334	350	380	339	352	326	302	291	288
50歳以上	838	877	918	848	950	1,010	841	790	811	777

イ 罪種別にみた検挙状況

(ア) 重要犯罪

令和4年中の重要犯罪の検挙は第16表のとおり、検挙件数は92件、検挙人員は78人、検挙率は98.9%であった。検挙率は9.2ポイント上昇した。

第16表 重要犯罪検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	令和 4年	令和 3年
			数	率				
総 数	92	87	5	5.7	78	72	98.9	89.7
殺 人	12	7	5	71.4	12	6	100.0	116.7
強 盗	11	13	-2	-15.4	12	12	91.7	100.0
放 火	5	7	-2	-28.6	5	3	100.0	87.5
強 制 性 交 等	21	22	-1	-4.5	17	19	95.5	95.7
略取誘拐・人身売買	3	2	1	50.0	5	4	75.0	66.7
強 制 わ い せ つ	40	36	4	11.1	27	28	105.3	81.8

(イ) 重要窃盗犯

令和4年中の重要窃盗犯の検挙は第17表のとおり、検挙件数は324件、検挙人員は87人、検挙率は38.6%で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。検挙率は前年より53.4ポイント下降した。

第17表 重要窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率		
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	令和 4年	令和 3年	
			数	率					
総 数	324	690	-366	-53.0	87	94	38.6	92.0	
侵 入 盗	269	670	-401	-59.9	70	82	37.0	103.4	
	住宅対象	99	448	-349	-77.9	21	37	36.8	189.0
	その他	170	222	-52	-23.4	49	45	37.1	54.0
自 動 車 盗	48	16	32	200.0	11	7	45.7	17.4	
ひ っ た く り	5	3	2	66.7	4	4	83.3	42.9	
す り	2	1	1	100.0	2	1	100.0	33.3	

(ウ) 凶悪犯

令和4年中の凶悪犯の検挙は、第18表のとおり、前年に比べ、検挙件数は増減がなく、検挙人員は増加した。

第18表 凶悪犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	49	49	±0	±0.0	46	40	6	15.0
殺 人	12	7	5	71.4	12	6	6	100.0
強 盗	11	13	-2	-15.4	12	12	±0	±0.0
放 火	5	7	-2	-28.6	5	3	2	66.7
強制性交等	21	22	-1	-4.5	17	19	-2	-10.5

(エ) 粗暴犯

令和4年中の粗暴犯の検挙は、第19表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第19表 粗暴犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	390	404	-14	-3.5	382	406	-24	-5.9
凶器準備集合	-	-	-	-	-	-	-	-
暴 行	185	192	-7	-3.6	183	187	-4	-2.1
傷 害	173	162	11	6.8	170	168	2	1.2
脅 迫	22	27	-5	-18.5	22	25	-3	-12.0
恐 喝	10	23	-13	-56.5	7	26	-19	-73.1

(オ) 窃盗犯

令和4年中の窃盗犯の検挙は第20表のとおりである。前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。検挙件数を手口別にみると、自動車盗、自販機ねらいの増加が目立ち、空き巣、忍込みが大きく減少した。

第20表 窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	1,858	2,259	-401	-17.8	950	1,010	-60	-5.9
侵 入 盗	269	670	-401	-59.9	70	82	-12	-14.6
空 き 巣	65	236	-171	-72.5	14	27	-13	-48.1
忍 込 み	29	208	-179	-86.1	4	9	-5	-55.6
居 空 き	5	4	1	25.0	3	1	2	200.0
金 庫 破 り	4	6	-2	-33.3	4	6	-2	-33.3
学 校 荒 し	1	3	-2	-66.7	-	2	-2	-100.0
事 務 所 荒 し	16	31	-15	-48.4	3	3	±0	±0.0
出 店 荒 し	15	40	-25	-62.5	7	4	3	75.0
そ の 他	134	142	-8	-5.6	35	30	5	16.7
乗 り 物 盗	131	115	16	13.9	60	59	1	1.7
自 動 車 盗	48	16	32	200.0	11	7	4	57.1
オ ー ト バ イ 盗	21	28	-7	-25.0	13	11	2	18.2
自 転 車 盗	62	71	-9	-12.7	36	41	-5	-12.2
非 侵 入 盗	1,458	1,474	-16	-1.1	820	869	-49	-5.6
部 品 ね ら い	19	12	7	58.3	4	4	±0	±0.0
車 上 ね ら い	103	208	-105	-50.5	13	10	3	30.0
ひ っ た く り	5	3	2	66.7	4	4	±0	±0.0
す り	2	1	1	100.0	2	1	1	100.0
自 動 販 売 機 ね ら い	45	9	36	400.0	3	1	2	200.0
万 引 き	765	773	-8	-1.0	567	632	-65	-10.3
置 引 き	80	92	-12	-13.0	69	80	-11	-13.8
そ の 他	439	376	63	16.8	158	137	21	15.3

(カ) 知能犯

令和4年中の知能犯の検挙は、第21表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第21表 知能犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	320	291	29	10.0	203	183	20	10.9
詐 欺	274	259	15	5.8	168	153	15	9.8
横 領	22	18	4	22.2	22	16	6	37.5
偽 造	23	12	11	91.7	11	13	-2	-15.4
汚 職	1	-	1	-	2	-	2	-
あっせん利得処罰法	-	-	±0	±0.0	-	-	±0	±0.0
背 任	-	2	-2	-100.0	-	1	-1	-100.0

(キ) 風俗犯

令和4年中の風俗犯の検挙は、第22表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第22表 風俗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	55	54	1	1.9	44	39	5	12.8
賭 博	1	-	1	-	6	-	6	-
強制わいせつ	40	36	4	11.1	27	28	-1	-3.6
公然わいせつ	12	13	-1	-7.7	9	9	±0	±0.0
わいせつ物頒布等	2	5	-3	-60.0	2	2	±0	±0.0

(ク) その他の刑法犯

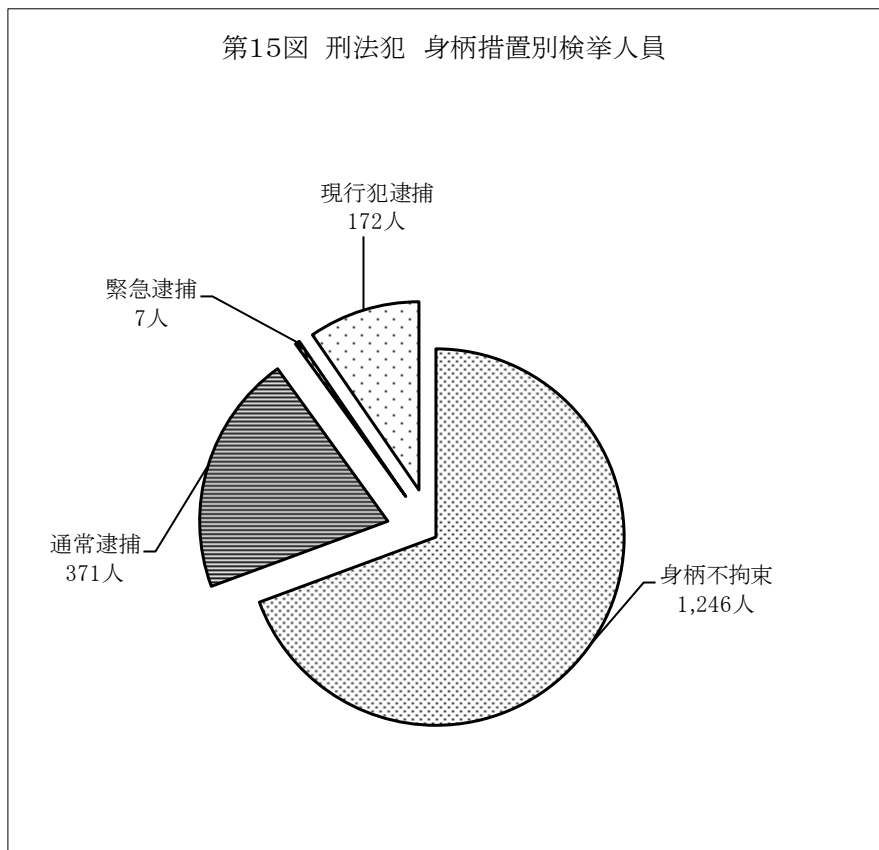
令和4年中のその他の刑法犯の検挙は、第23表のとおり、前年に比べ検挙件数は減少し、検挙人員は増加した。

第23表 その他の刑法犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	281	364	-83	-22.8	171	168	3	1.8
うち) 略取誘拐・人身売買	3	2	1	50.0	5	4	1	25.0
うち) 占有離脱物横領	64	42	22	52.4	60	42	18	42.9
うち) 住 居 侵 入	69	112	-43	-38.4	24	22	2	9.1
うち) 逮 捕 監 禁	2	1	1	100.0	2	2	±0	±0.0
うち) 器 物 損 壊 等	83	148	-65	-43.9	33	55	-22	-40.0

ウ 身柄措置別検挙状況

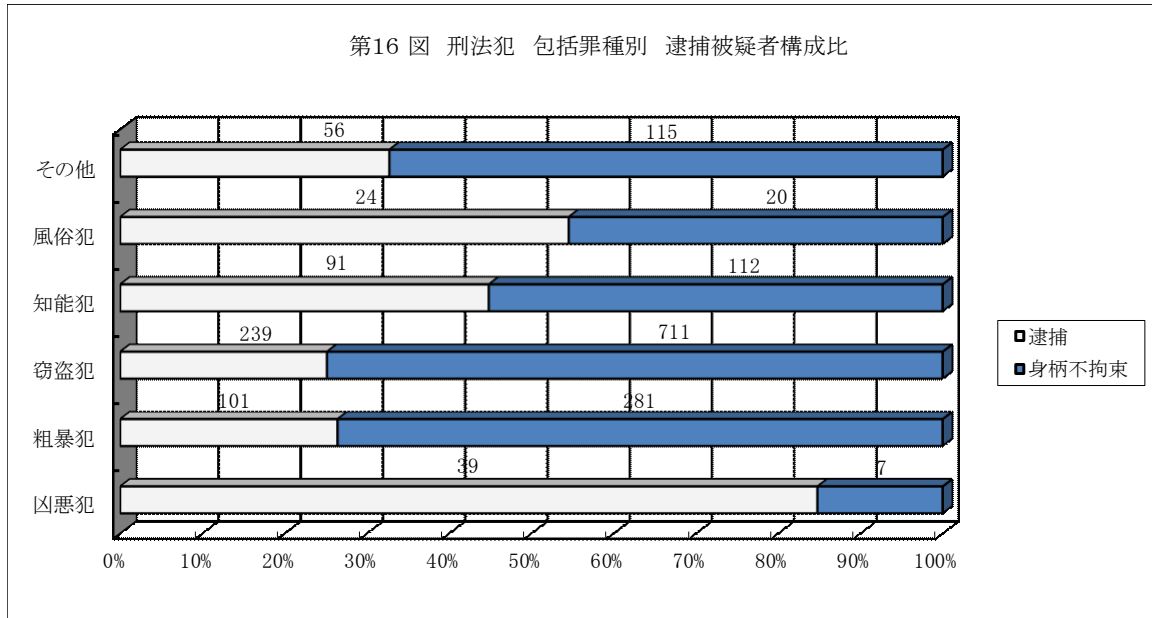
令和4年中の刑法犯検挙人員1,796人を身柄措置別にみると、第15図、第24表のとおりで、身柄不拘束者は1,246人、逮捕人員は550人であった。



第24表 刑法犯包括罪種別身柄措置別検挙人員

身柄措置別 包括罪種別		総 数	身柄不拘束	逮 捕 計	逮 捕 計		
					現行犯逮捕	緊急逮捕	通常逮捕
総 数	令和4年	1,796	1,246	550	172	7	371
	令和3年	1,846	1,257	589	179	9	401
	増減数	-50	-11	-39	-7	-2	-30
凶 悪 犯	令和4年	46	7	39	5	-	34
	令和3年	40	8	32	8	2	22
	増減数	+6	-1	+7	-3	-2	+12
粗 暴 犯	令和4年	382	281	101	43	2	56
	令和3年	406	278	128	38	4	86
	増減数	-24	+3	-27	+5	-2	-30
窃 盗 犯	令和4年	950	711	239	83	4	152
	令和3年	1,010	754	256	91	2	163
	増減数	-60	-43	-17	-8	+2	-11
うち) 侵入盗	令和4年	70	19	51	9	1	41
	令和3年	82	14	68	8	-	60
	増減数	-12	+5	-17	+1	+1	-19
知 能 犯	令和4年	203	112	91	11	1	79
	令和3年	183	93	90	9	-	81
	増減数	+20	+19	+1	+2	+1	-2
風 俗 犯	令和4年	44	20	24	4	-	20
	令和3年	39	19	20	3	-	17
	増減数	+5	+1	+4	+1	±0	+3
そ の 他	令和4年	171	115	56	26	-	30
	令和3年	168	105	63	30	1	32
	増減数	+3	+10	-7	-4	-1	-2

また、包括罪種別に逮捕被疑者の構成比をみると第16図のとおりで、逮捕被疑者の占める率が最も高いのは凶悪犯で、最も低いのは窃盗犯である。



エ 女性に係る犯罪

令和4年中における女性被害に係る刑法犯認知件数は第25表のとおり、1,743件で、前年に比べ91件(5.5%)増加した。包括罪種別にみると、風俗犯では被害の約89%、凶悪犯では被害の約70%が女性である。

第25表 女性被害に係る刑法犯認知件数前年対比

区分	令和4年			令和3年			増減		
	人の被害 の計	うち)女	構成比	人の被害 の計	うち)女	構成比	人の被害 の計	うち)女	ポイント
総数	5,177	1,743	33.7	4,883	1,652	33.8	294	91	-0.1
凶悪犯	50	35	70.0	44	25	56.8	6	10	13.2
粗暴犯	451	206	45.7	482	219	45.4	-31	-13	0.3
窃盗犯	3,503	1,011	28.9	3,136	920	29.3	367	91	-0.4
侵入盗	483	121	25.1	434	125	28.8	49	-4	-3.7
乗り物盗	1,536	417	27.1	1,238	329	26.6	298	88	0.5
非侵入盗	1,484	473	31.9	1,464	466	31.8	20	7	0.1
知能犯	268	142	53.0	196	99	50.5	72	43	2.5
風俗犯	47	42	89.4	52	50	96.2	-5	-8	-6.8
その他	858	307	35.8	973	339	34.8	-115	-32	1.0

女性被害に係る刑法犯認知件数の過去10年間の推移をみると、第26表のとおりで、平成25年以降、減少傾向を示していたが、令和4年は増加に転じた。

第26表 女性被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総 数	4,952	4,142	3,387	3,089	3,035	2,587	2,466	2,028	1,652	1,743
凶 悪 犯	32	25	27	24	27	21	19	26	25	35
粗 暴 犯	184	160	166	198	226	225	204	205	219	206
窃 盗 犯	3,675	3,040	2,371	2,070	1,971	1,668	1,644	1,225	920	1,011
侵入盗	430	374	313	269	270	188	234	208	125	121
乗り物盗	1,727	1,461	1,142	931	842	725	777	421	329	417
非侵入盗	1,518	1,205	916	870	859	755	633	596	466	473
知 能 犯	159	158	168	146	190	121	115	122	99	142
風 俗 犯	82	61	48	51	41	49	38	38	50	42
そ の 他	820	698	607	600	580	503	446	412	339	307

令和4年中における刑法犯検挙人員のうち、女性の検挙人員は第27表のとおり、384人で、前年に比べ、17人(4.2%)減少した。刑法犯検挙人員に占める女性の割合は21.4%で、前年に比べ0.3ポイント下降した。

第27表 女性の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総 数	544	517	508	462	487	488	458	429	401	384
凶 悪 犯	6	4	3	6	6	3	3	4	4	0
粗 暴 犯	30	16	20	28	24	28	39	39	35	50
窃 盗 犯	436	436	425	376	406	375	368	326	306	279
侵入盗	8	1	6	3	1	2	4	1	6	0
乗り物盗	14	7	12	7	4	2	10	3	1	1
非侵入盗	414	428	407	366	401	371	354	322	299	278
知 能 犯	42	35	25	28	32	46	33	33	39	38
風 俗 犯	4	4	4	4	1	14	0	0	0	2
そ の 他	26	22	31	20	18	22	15	27	17	15

オ 高齢者に係る犯罪

令和4年中における高齢者被害に係る刑法犯認知件数は第28表のとおり、905件で、前年に比べ56件(6.6%)の増加となった。

刑法犯全体に占める高齢者被害の割合は11.8%で、前年に比べ、0.3ポイント上昇した。

高齢者被害に係る刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、令和4年は知能犯に占める高齢者の割合が過去10年間で最高の構成比となった。

第28表 高齢者被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総 数	2,170	2,016	1,696	1,621	1,523	1,194	1,243	1,061	849	905
構成比	11.0	11.5	11.2	11.5	11.4	10.6	12.0	12.4	11.5	11.8
凶 悪 犯	5	10	7	2	8	8	6	6	1	7
構成比	7.7	16.7	14.9	4.2	17.4	15.4	14.3	13.6	2.0	13.7
粗 暴 犯	29	37	26	35	35	40	45	46	50	35
構成比	5.3	7.5	5.8	7.1	7.0	7.9	9.5	10.6	10.4	7.7
窃 盗 犯	1,631	1,510	1,263	1,140	1,096	831	857	715	517	597
構成比	10.8	11.2	11.0	10.9	11.1	10.1	11.4	11.7	10.1	11.0
知 能 犯	123	109	124	139	105	83	79	82	91	124
構成比	18.0	17.6	20.7	18.5	15.0	14.2	15.6	19.5	24.5	26.7
風 俗 犯	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
構成比	-	-	-	-	-	3.1	-	-	-	3.7
そ の 他	382	350	276	305	279	230	256	212	190	140
構成比	11.6	12.5	10.9	13.3	12.6	12.8	15.1	14.2	14.6	11.9

* 構成比は刑法犯認知件数に占める高齢者被害の件数の割合をいう。

令和4年中における刑法犯検挙人員のうち、高齢者の検挙人員は第29表のとおり、410人で、全体に占める割合は22.8%である。

第29表 高齢者検挙人員の推移

区 分	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総 数	419	470	495	486	510	558	457	425	417	410
構成比	17.1	19.2	21.7	22.5	23.3	25.2	23.6	22.8	22.6	22.8
凶 悪 犯	3	3	3	2	5	4	4	4	3	4
構成比	7.7	5.6	7.3	5.4	13.5	11.4	8.9	7.8	7.5	8.7
粗 暴 犯	31	32	43	34	44	59	55	43	51	56
構成比	8.9	9.4	12.7	9.4	12.0	15.0	14.2	12.0	12.6	14.7
窃 盗 犯	336	388	391	400	415	405	340	332	318	292
構成比	22.0	25.7	27.3	30.0	30.4	33.0	30.5	31.4	31.5	30.7
知 能 犯	19	19	13	11	17	26	16	13	14	20
構成比	8.9	9.6	8.8	7.0	9.7	12.3	9.8	9.2	7.7	9.9
風 俗 犯	5	3	4	8	3	31	5	3	6	8
構成比	7.6	3.9	7.4	14.3	9.1	20.8	9.4	7.0	15.4	18.2
そ の 他	25	25	41	31	26	33	37	30	25	30
構成比	10.0	9.3	15.6	14.5	12.0	17.1	21.4	14.2	14.9	17.5

* 構成比は刑法犯検挙人員に占める高齢被疑者の割合をいう。

2 特別法犯検挙状況

令和4年中における特別法犯の検挙状況をみると、検挙件数は571件、検挙人員は398人で、前年に比べ、検挙件数は74件(11.5%)減少し、検挙人員は59人(12.9%)減少した。

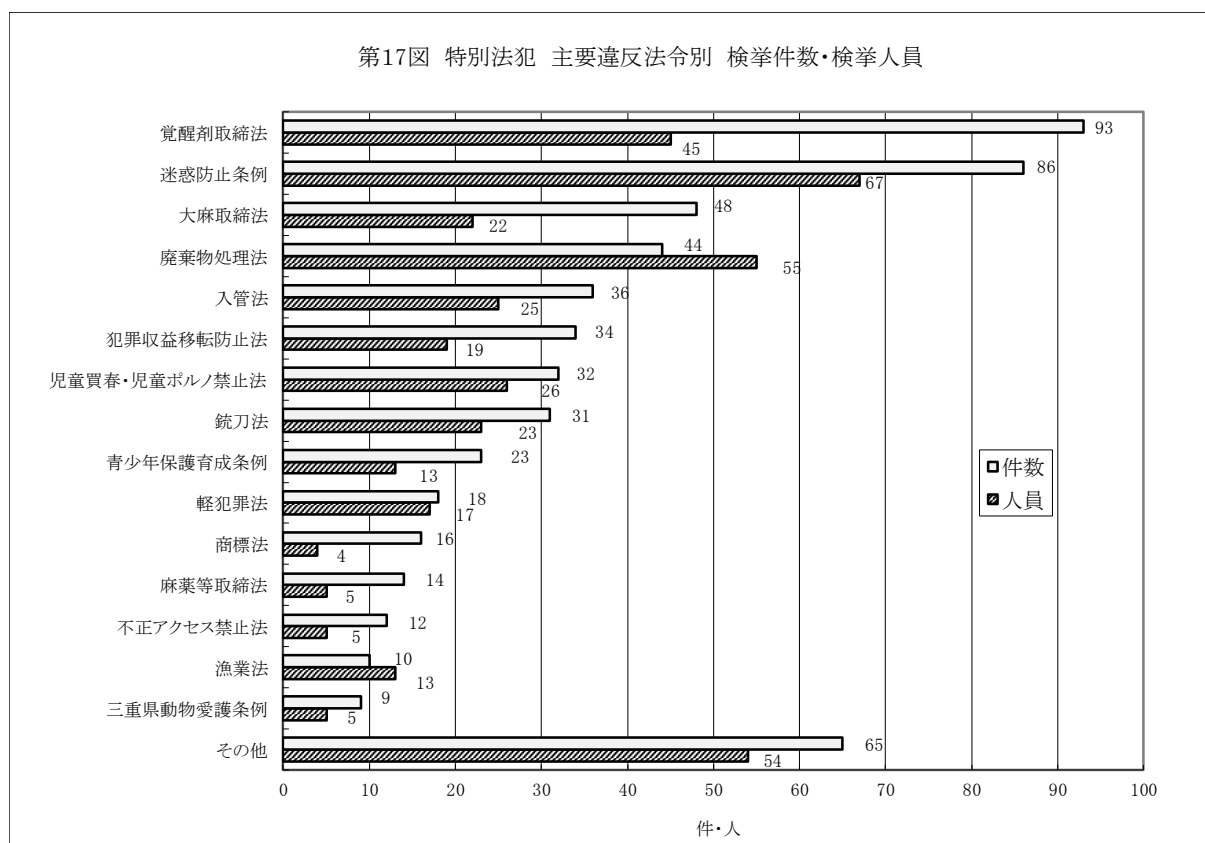
違反法令別に前年と比較すると、検挙件数は第30表のとおり、迷惑防止条例、児童買春・児童ポルノ禁止法等が増加し、覚醒剤取締法、入管法等が減少した。

第30表 特別法犯検挙状況

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年	増減数
公 職 選 挙 法	-	4	-4	-	4	-4
入 管 法	36	59	-23	25	37	-12
軽 犯 罪 法	18	37	-19	17	31	-14
迷 惑 防 止 条 例	86	64	22	67	45	22
動 物 愛 護 管 理 法	2	3	-1	2	4	-2
ス ト ー カ ー 規 制 法	4	13	-9	4	7	-3
特 殊 開 錠 用 具 所 持 禁 止 法	-	1	-1	-	-	±0
風 営 適 正 化 法	4	10	-6	6	6	±0
売 春 防 止 法	-	1	-1	-	-	±0
未 成 年 者 喫 煙 禁 止 法	1	5	-4	1	5	-4
青 少 年 保 護 育 成 条 例	23	19	4	13	15	-2
児 童 買 春 ・ 児 童 ポ ル ノ 禁 止 法	32	20	12	26	16	10
出 資 法	-	1	-1	-	-	±0
貸 金 業 法	-	1	-1	-	-	±0
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	34	26	8	19	21	-2
建 設 業 法	-	1	-1	-	-	±0
銃 刀 法	31	36	-5	23	31	-8
狩 猟 法	2	6	-4	3	2	1
麻 薬 等 取 締 法	14	7	7	5	3	2
あ へ ん 法	-	2	-2	-	-	±0

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年	増減数
大 麻 取 締 法	48	47	1	22	24	-2
覚 醒 剤 取 締 法	93	128	-35	45	77	-32
医 薬 品 医 療 機 器 等 法	1	2	-1	-	2	-2
毒 劇 物 法	4	2	2	2	2	±0
麻 薬 等 特 例 法	3	-	3	2	-	2
食 品 衛 生 法	1	1	±0	-	-	±0
理 容 師 法	-	1	-1	-	-	±0
廃 棄 物 処 理 法	44	62	-18	55	69	-14
狂 犬 病 予 防 法	8	9	-1	5	8	-3
建 設 資 材 再 資 源 化 法	-	3	-3	-	1	-1
文 化 財 保 護 法	-	1	-1	-	1	-1
職 業 安 定 法	1	-	1	2	-	2
不 正 競 争 防 止 法	2	1	1	1	1	±0
金 融 商 品 取 引 法	1	-	1	2	-	2
割 賦 販 売 法	-	1	-1	-	1	-1
特 定 商 取 引 法	2	2	±0	2	2	±0
森 林 法	5	9	-4	5	9	-4
漁 業 法	10	7	3	13	7	6
航 空 法	1			1		
船 舶 職 員 法	-	1	-1	-	1	-1
郵 便 法	3		3			±0
電 波 法	4	3	1	4	3	1
不 正 ア ク セ ス 禁 止 法	12	7	5	5	3	2
会 社 法	-	1	-1	1	-	1
商 標 法	16	4	12	4	1	3
著 作 権 法	5	14	-9	-	2	-2
民 事 執 行 法	6	6	±0	6	6	±0
労 働 施 策 総 合 推 進 法	1	1	±0	1	-	1
四日市市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	-	1	-1	-	1	-1
四日市市客引き行為等の防止に関する条例	3	2	1	3	2	1
伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	-	1	-1	-	1	-1
三重県漁業調整規則	1	2	-1	1	2	-1
三重県動物の愛護及び管理に関する条例	9	10	-1	5	4	1
総 数	571	645	-74	398	457	-59

違反法令別にみると、第17図のとおりで、検挙件数は覚醒剤取締法、迷惑防止条例、大麻取締法が上位を占めている。



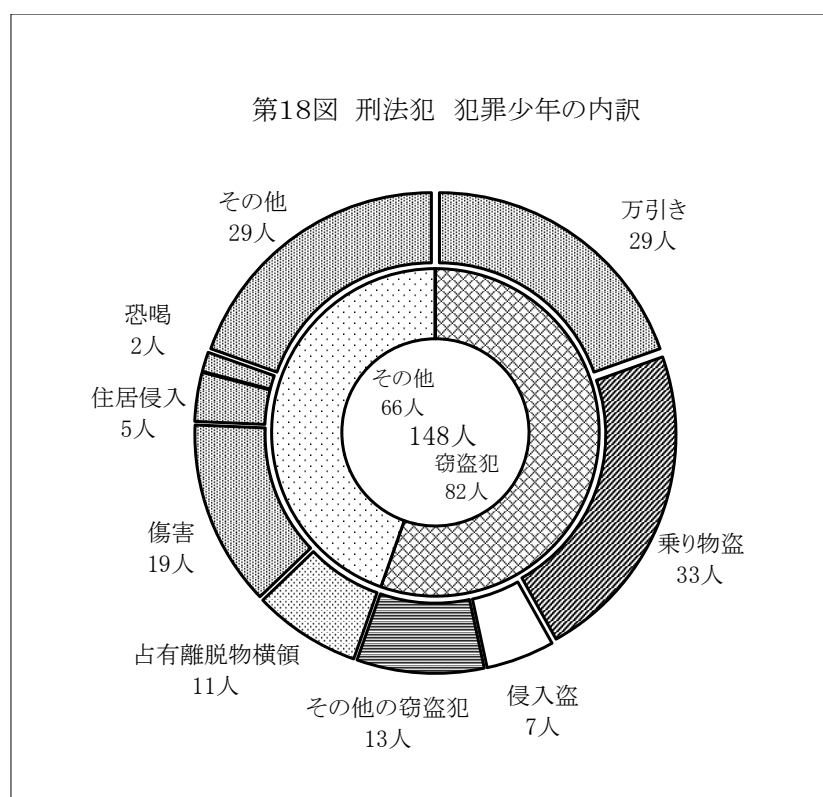
3 少年犯罪の状況

- (1) 令和4年中に検挙された刑法犯の犯罪少年は、第31表のとおり148人で前年に比べ24人(14.0%)減少した。罪種別にみると、凶悪犯、窃盗犯、風俗犯、その他の刑法犯が減少した。

第31表 刑法犯犯罪少年検挙人員増減比較

包括罪種	令和4年		令和3年		増減	
	数	構成比	数	構成比	人員	率
総数	148	100.0	172	100.0	-24	-14.0
凶悪犯	5	3.4	6	3.5	-1	-16.7
粗暴犯	28	18.9	27	15.7	1	3.7
窃盗犯	82	55.4	101	58.7	-19	-18.8
知能犯	6	4.1	5	2.9	1	20.0
風俗犯	2	1.4	3	1.7	-1	-33.3
その他	25	16.9	30	17.4	-5	-16.7

また、第18図のとおり、窃盗犯の少年が犯罪少年全体の約6割を占めている。特に万引き、乗り物盗の占める率が高い。



(2) 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比の10年間の推移をみると、第32表のとおりで、平成25年をピークに減少傾向であり、令和4年は過去10年において少年の構成比が最も小さい。

第32表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比

区 分	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総 数	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796
うち)少年	593	570	388	294	248	240	215	175	172	148
構 成 比	24.2	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2

(3) 令和4年中の刑法犯検挙人員に占める少年の構成比を警察署別にみると、第33表のとおりで、犯罪少年の構成比が最も高かったのは、四日市西警察署の15.9%で、紀宝警察署は少年の検挙がなかった。

第33表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比(警察署別)

区 分		平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	区 分		平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総 数	総 数	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	松 阪 大 台 伊 勢 鳥 羽 尾 鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	269	211	218	188	191
	うち)少年	240	215	175	172	148		うち)少年	24	19	20	5	10
	構成比	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2		構成比	8.9	9.0	9.2	2.7	5.2
桑 名	総 数	124	139	116	153	157	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	12	13	16	2	15
	うち)少年	13	15	9	11	21		うち)少年	1	-	5	-	1
	構成比	10.5	10.8	7.8	7.2	13.4		構成比	8.3	-	31.3	-	6.7
い な べ	総 数	49	65	60	68	58	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	216	160	159	209	180
	うち)少年	4	3	5	11	2		うち)少年	23	20	9	12	10
	構成比	8.2	4.6	8.3	16.2	3.4		構成比	10.6	12.5	5.7	5.7	5.6
四 北 四	総 数	176	134	177	137	118	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	51	66	57	49	83
	うち)少年	16	18	9	10	8		うち)少年	5	7	3	2	9
	構成比	9.1	13.4	5.1	7.3	6.8		構成比	9.8	10.6	5.3	4.1	10.8
南 四	総 数	220	200	197	175	175	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	41	46	33	26	37
	うち)少年	19	16	21	18	19		うち)少年	6	2	1	-	1
	構成比	8.6	8.0	10.7	10.3	10.9		構成比	14.6	4.3	3.0	-	2.7
西 亀	総 数	86	66	44	55	44	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	31	16	15	24	16
	うち)少年	10	5	7	8	7		うち)少年	1	2	1	-	1
	構成比	11.6	7.6	15.9	14.5	15.9		構成比	3.2	12.5	6.7	-	6.3
山 鈴	総 数	53	66	67	64	47	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	12	3	9	19	14
	うち)少年	3	16	7	4	3		うち)少年	3	-	-	-	-
	構成比	5.7	24.2	10.4	6.3	6.4		構成比	25.0	-	-	-	-
鹿 津	総 数	285	286	266	273	211	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	108	79	61	58	55
	うち)少年	52	47	29	55	14		うち)少年	13	7	7	10	4
	構成比	18.2	16.4	10.9	20.1	6.6		構成比	12.0	8.9	11.5	17.2	7.3
津 南	総 数	256	188	164	179	160	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	74	80	99	64	86
	うち)少年	22	18	15	6	18		うち)少年	8	11	14	7	7
	構成比	8.6	9.6	9.1	3.4	11.3		構成比	10.8	13.8	14.1	10.9	8.1
津 南	総 数	147	120	105	103	149	鷺 熊 野 紀 宝 伊 賀 名 張 本 部	総 数	-	-	-	-	-
	うち)少年	17	9	13	13	13		うち)少年	-	-	-	-	-
	構成比	11.6	7.5	12.4	12.6	8.7		構成比	-	-	-	-	-

(4) 触法少年を除く少年犯罪の過去10年間の推移を犯行時年齢別にみると、第34表のとおりで、当初は14歳から16歳までの低年齢層が約7割を占めていたが、年々減少し、令和4年は約4割となっている。

第34表 刑法犯の犯行時年齢別検挙人員の推移(14~19歳)

区 分	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総数	600	577	397	296	259	245	219	180	178	152
14歳	127	87	59	45	36	33	43	19	21	19
15歳	147	171	84	63	32	52	30	27	25	22
16歳	151	126	106	60	53	59	43	47	40	25
17歳	91	93	68	58	54	34	41	33	46	36
18歳	40	63	51	36	47	38	41	36	21	25
19歳	44	37	29	34	37	29	21	18	25	25

注:本表の検挙人員については、犯行時が少年で処理時が20歳以上の場合を含む。

4 暴力団犯罪の状況

(1) 令和4年中の暴力団の検挙状況は、第35表のとおり、検挙件数は175件、検挙人員は91人で、前年に比べ、検挙件数は51件(22.6%)減少し、検挙人員は22人(19.5%)減少した。

第35表 暴力団犯罪検挙状況

区 分		平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
総 数	件数	673	256	314	280	226	175
	人員	140	188	136	119	113	91
刑 法 犯	件数	589	190	253	233	175	117
	人員	97	149	99	93	75	67
特 別 法 犯	件数	84	66	61	47	51	58
	人員	43	39	37	26	38	24

(2) 暴力団犯罪のうち、刑法犯の検挙状況を前年と比較すると、第36表のとおりで、検挙件数は58件(33.1%)減少し、検挙人員は8人(10.7%)減少した。

第36表 暴力団犯罪(刑法犯)罪種別検挙件数・検挙人員

罪 種	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年	増減数
総 数	117	175	-58	67	75	-8
殺 人	1	-	1	1	-	1
強 盗	-	1	-1	-	1	-1
放 火	-	-	±0	-	-	±0
強 制 性 交 等	-	-	±0	-	-	±0
凶 器 準 備 集 合	-	-	±0	-	-	±0
暴 行	6	2	4	6	2	4
傷 害	9	16	-7	9	17	-8
脅 迫	3	2	1	4	1	3
恐 喝	1	8	-7	1	10	-9
窃 盗	70	117	-47	23	13	10
詐 欺	13	14	-1	14	19	-5
横 領	1	2	-1	1	2	-1
文 書 偽 造	1	2	-1	1	3	-2
賭 博	-	-	±0	-	-	±0
わいせつ物頒布等	-	-	±0	-	-	±0
公務執行妨害	3	-	3	1	-	1
犯人蔵匿	-	-	±0	-	-	±0
証人威迫	-	1	-1	-	-	±0
逮捕監禁	-	-	±0	-	-	±0
信用毀損・ 威力業務妨害	-	-	±0	-	-	±0
器物損壊等	2	9	-7	1	6	-5
暴力行為等処罰 ニ関スル法律	-	-	±0	-	-	±0
そ の 他	7	1	6	5	1	4

(3) 暴力団犯罪のうち、特別法犯の検挙状況を前年と比較すると、第37表のとおりで、検挙件数は7件(13.7%)増加し、検挙人員は14件(36.8%)減少した。

第37表 暴力団犯罪(特別法犯)違反法令別検挙件数・検挙人員

違反法令別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年	増減数
総 数	58	51	7	24	38	-14
迷 惑 防 止 条 例	-	1	-1	-	1	-1
風 営 適 正 化 法	-	1	-1	-	1	-1
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	2	4	-2	2	3	-1
銃 刀 法	3	4	-1	1	4	-3
麻 薬 等 取 締 法	1	-	1	-	-	±0
大 麻 取 締 法	6	7	-1	2	3	-1
覚 醒 剤 取 締 法	43	33	10	17	25	-8
麻 薬 等 特 例 法	1	-	1	1	-	1
廃 棄 物 処 理 法	-	1	-1	-	1	-1
郵 便 法	1	-	1	-	-	±0
民 事 執 行 法	1	-	1	1	-	1

5 来日外国人犯罪の状況

(1) 令和4年中における来日外国人による犯罪の検挙状況は第38表のとおりである。刑法犯、特別法
犯をあわせた総件数は127件、総人員は99人で、前年と比較すると、件数は110件(46.4%)減少
し、人員は54人(35.3%)減少した。

第38表 刑法犯包括罪種別・違反法令別来日外国人検挙状況

区 分	検挙件数				検挙人員				
	令和 4年	令和 3年	増 減		令和 4年	令和 3年	増 減		
			数	率			数	率	
総 数	127	237	-110	-46.4	99	153	-54	-35.3	
刑 法 犯	小 計	73	124	-51	-41.1	59	85	-26	-30.6
	凶 悪 犯	1	3	-2	-66.7	1	4	-3	-75.0
	粗 暴 犯	15	14	1	7.1	15	14	1	7.1
	窃 盗 犯	41	72	-31	-43.1	32	49	-17	-34.7
	知 能 犯	3	11	-8	-72.7	4	7	-3	-42.9
	風 俗 犯	1	5	-4	-80.0	1	2	-1	-50.0
	そ の 他	12	19	-7	-36.8	6	9	-3	-33.3
特 別 法 犯	小 計	54	113	-59	-52.2	40	68	-28	-41.2
	入 管 法	34	56	-22	-39.3	23	34	-11	-32.4
	風 営 適 正 化 法	-	4	-4	-100.0	-	1	-1	-100.0
	青少年保護育成条例	2	-	2	-	2	-	2	-
	犯罪収益移転防止法	2	-	2	-	1	-	1	-
	銃 刀 法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	麻 薬 等 取 締 法	4	4	±0	±0.0	3	-	3	-
	あ へ ん 法	-	2	-2	-100.0	-	-	±0	-
	大 麻 取 締 法	7	14	-7	-50.0	5	6	-1	-16.7
	覚 醒 剤 取 締 法	3	23	-20	-87.0	1	15	-14	-93.3
	医薬品医療機器等法	-	1	-1	-100.0	-	2	-2	-100.0
	廃 棄 物 処 理 法	2	-	2	-	5	1	4	400.0
	割 賦 販 売 法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	森 林 法	-	1	-1	-100.0	-	2	-2	-100.0
	漁 業 法	-	2	-2	-100.0	-	2	-2	-100.0
	不正アクセス禁止法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
そ の 他	-	3	-3	-100.0	-	2	-2	-100.0	

(2) 過去10年間ににおける来日外国人による刑法犯の検挙状況は、第39表、第40表のとおりで、令和4
年の検挙件数は過去10年で最少の件数となった。検挙人員については平成28年に過去10年で最
少の人員となり、その後は増加と減少を繰り返している。

また、令和4年中の刑法犯の総数に対し、来日外国人の占める割合は、検挙件数では2.5%、検
挙人員では3.3%となっている。

第39表 刑法犯来日外国人の検挙件数の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和
	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
総 数	6,048	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953
来日外国人	295	253	314	114	150	92	146	160	124	73
構 成 比	4.9	4.7	6.5	2.5	2.6	1.9	3.8	4.5	3.6	2.5
凶 悪 犯	46	52	45	46	49	50	40	47	49	49
来日外国人	4	1	-	3	3	2	3	5	3	1
構 成 比	8.7	1.9	-	6.5	6.1	4.0	7.5	10.6	6.1	2.0
粗 暴 犯	343	333	347	360	371	396	393	360	404	390
来日外国人	11	11	11	6	11	16	18	15	14	15
構 成 比	3.2	3.3	3.2	1.7	3.0	4.0	4.6	4.2	3.5	3.8
窃 盗 犯	4,538	3,837	3,526	3,155	4,334	3,623	2,609	2,486	2,259	1,858
来日外国人	252	222	285	92	59	61	114	111	72	41
構 成 比	5.6	5.8	8.1	2.9	1.4	1.7	4.4	4.5	3.2	2.2
知 能 犯	593	574	486	551	440	518	432	299	291	320
来日外国人	14	6	8	7	63	1	3	12	11	3
構 成 比	2.4	1.0	1.6	1.3	14.3	0.2	0.7	4.0	3.8	0.9
風 俗 犯	72	99	79	76	54	52	59	55	54	55
来日外国人	-	2	2	1	2	1	2	3	5	1
構 成 比	-	2.0	2.5	1.3	3.7	1.9	3.4	5.5	9.3	1.8
そ の 他	456	500	382	369	469	325	296	344	364	281
来日外国人	14	11	8	5	12	11	6	14	19	12
構 成 比	3.1	2.2	2.1	1.4	2.6	3.4	2.0	4.1	5.2	4.3

第40表 刑法犯来日外国人の検挙人員の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和
	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
総 数	2,448	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796
来日外国人	96	77	73	51	71	67	68	92	85	59
構 成 比	3.9	3.1	3.2	2.4	3.2	3.0	3.5	4.9	4.6	3.3
凶 悪 犯	39	54	41	37	37	35	45	51	40	46
来日外国人	5	1	-	3	3	2	2	10	4	1
構 成 比	12.8	1.9	-	8.1	8.1	5.7	4.4	19.6	10.0	2.2
粗 暴 犯	350	342	339	361	366	393	388	357	406	382
来日外国人	12	9	11	5	12	16	17	16	14	15
構 成 比	3.4	2.6	3.2	1.4	3.3	4.1	4.4	4.5	3.4	3.9
窃 盗 犯	1,530	1,507	1,434	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950
来日外国人	56	49	53	36	41	39	43	43	49	32
構 成 比	3.7	3.3	3.7	2.7	3.0	3.2	3.9	4.1	4.9	3.4
知 能 犯	214	198	147	157	176	212	164	141	183	203
来日外国人	14	8	3	3	4	4	1	10	7	4
構 成 比	6.5	4.0	2.0	1.9	2.3	1.9	0.6	7.1	3.8	2.0
風 俗 犯	66	76	54	56	33	149	53	43	39	44
来日外国人	-	2	2	1	2	-	2	2	2	1
構 成 比	-	2.6	3.7	1.8	6.1	-	3.8	4.7	5.1	2.3
そ の 他	249	270	263	214	217	193	173	212	168	171
来日外国人	9	8	4	3	9	6	3	11	9	6
構 成 比	3.6	3.0	1.5	1.4	4.1	3.1	1.7	5.2	5.4	3.5